

4 「教養の森」センター設置記念シンポジウムを開催



平成25年1月28日、前年10月に設置された「教養の森」センター設置記念シンポジウムを開催し、約150名の学生・教職員が参加しました。

シンポジウムでは、元JAXA（宇宙航空研究開発機構）宇宙飛行士の山崎直子氏による基調講演「宇宙・人・夢をつなぐ」が行われ、スペースシャトル「ディスカバリー号」に搭乗し、国際宇宙ステーションの組み立てミッションに従事するまでの経験等を写真を交えつつ語り、「その時は分からなくても、後で直接的間接的につながってくるのが教養ではないか。色々なことを吸収して自分の道を切り開いてほしい。」と語りかけ、大学の「教養教育」について考える良い機会となりました。

詳しい記事はこちら→

http://www.wakayama-u.ac.jp/pickup/pickup_91.html

詳しくは



検索

5 シンポジウム「新しい大学教育・大学院教育の創造」を開催

平成25年2月12日（火）、シンポジウム「新しい大学教育・大学院教育の創造」を開催し、学生・教職員約100名が参加しました。

常盤豊氏（文部科学省大臣官房審議官（高等教育局担当））による基調講演「大学教育・大学院教育に求められているもの～大学改革の推進について～」が行われ、世界と比較した際の日本の大学の現状などについて触れた後、これからの大学改革の方向性や育成すべき人材像などについて語られました。

また、鹿島義範氏（株式会社エスティーワールド代表取締役社長）による事例報告「企業が求める人材と和歌山大学への期待」として大学教育への要望・期待が語られるなど、これからの大学教育及び大学院教育のあるべき姿について真摯に向き合い、新たな方向性を見出していくための一歩となるシンポジウムとなりました。



← 詳しい記事はこちら

http://www.wakayama-u.ac.jp/pickup/pickup_95.html

詳しくは

検索

6 ジオネタから歴史文化までの学部開放授業「紀州郷土学」を開講 ～南紀熊野サテライト～



和歌山大学南紀熊野サテライトにて、平成25年～26年度前後期学部開放授業「紀州郷土学」が開催されます。

この授業は、和歌山大学ジオツーリズム研究会（研究代表者：久富邦彦教育学部教授）が、平成23・24年度に「和歌山県におけるジオツーリズム自然教育価値創造事業」で取り組んだ成果を生かして開催されるもので、紀伊半島の生活のベースとなる地質・地形・気候の成り立ちから自然遺産の記録や活用について学べるカリキュラムです。フィールド型の現地学習の機会もあり、南紀熊野のジオツーリズムにも関連した授業内容となっております。